

令和4年度 第1回 帯広市地域自立支援協議会 差別解消部会 議事録【概要版】

日時：令和4年8月17日（水）18:30～20:13

場所：ソネビル 6階 講習会室

出席委員（23名）

オブザーバー（1名）

十勝総合振興局保健環境部社会福祉課

事務局（7名）

帯広市 4名

十勝障がい者総合相談支援センター 3名

1 開会

2 挨拶 帯広市市民福祉部長

3 自己紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、資料2座席表を各自確認頂くこととした。

※事務局より議事に入る前に会議趣旨について資料4、5に基づき説明を行った。

4 議 事

（1）相談事例の報告

事務局より、資料6に基づき令和3年度の相談事例2件の報告を行った。また、令和4年度はここまで相談はない事の報告を行った。

（2）障害当事者による啓発DVD（北海道作成）

「わかってください、手をかしてください～障がい者からのメッセージ～」

DVD 視聴 35分

（3）「差別解消及び合理的配慮に関する取り組み実践報告」

報告者 北海道中小企業家同友会とかち支部 事務局長 佐々木 靖俊 氏

事務局員 北村 泰徳 氏

令和3年度に立ち上がった北海道中小企業家同友会とかち支部社会福祉委員会の活動について、資料7に基づき、障害者雇用を主とした内容のセミナーや見学会などの活動内容の報告があった。

また、令和3年度に実施した障害者雇用に関するアンケートの結果について報告があった。

- ・870社にアンケートを配布し、119社から回答があった。
- ・障害者雇用をしている企業は34社28.6%であり、障害者雇用をしたきっかけにつ

いては、企業として社会貢献を果たすため、人手不足解消のためという理由が多かった。

- ・障害者雇用をしていない理由は適した業種・職種ではない、受け入れる施設や整備、知識の不足という理由が多かった。
- ・障害者に関する施設との交流の有無については、交流がないが79社66.4%。
- ・インターンシップを受け入れてみたいかについては、希望しないが75社63%。
- ・障害者雇用の今後の予定については、実際に必要な能力がある障害者なら雇用したいが44社37%、雇用する予定はないが39社32.8%だった。

今後、障害者雇用や働きづらさの解消に向け、まずは障害者雇用に興味を持ってもらうための会員周知に取り組む予定とのお話があった。

○委員からの感想

障害に対する理解が企業に広がれば障害者が就職に結びつく可能性も高くなる。

また、就職後の定着にも企業の理解が必要なので、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

(4) 意見・情報交換

各委員から DVD を視聴した感想や日頃から合理的配慮として行っていること等についての意見・情報交換を行った。

(5) その他

事務局より、実務者会議の開催を必要とする相談事例があった場合の関係構成員の協力を依頼した。